

# 心のかようまちづくり会議 子ども議会



7月28日八百津町議会議事堂で町内の小中高校生が議員を務めた子ども議会が開かれました。

この催しは、7月26日から8月2日まで行った「杉原ウィーク」のイベントの一つです。

子ども議会は、小中学校8校と八百津高校から2人ずつ出席して開会され、18人全員が一般質問を行い、赤塚町長をはじめ、各課長がそれぞれの質問に対して回答しました。

質問は、「通学路の安全対策について」「学校の設備、備品の充実について」「八百津町の防犯対策について」というような子どもたちに身近な質問をはじめ、「八百津町の財政状況について」「八百津町の産業の発展のための方法について」「高齢化に伴う福祉の充実について」などの鋭い質問もあり、本番の議会さながらに緊張感のあるやりとりが繰り広げられました。町執行部は、子どもたちの質問に対しできる限り専門用語を使わないようにするなどていねいに答弁していました。

議会終了後、子ども議員のみなさんは「根拠を明らかにしたり、筋道を立てて話したり、質問したりすることはなかなか難しいと思いました。自分の考えをはっきりさせるという意味で今後も大切にしていきたいです。会話のなかで自然に取り入れていけるように頑張りたい。」「こうして議会に出てみると八百津町のいろいろなことを身近に感じました。また、八百津町にはいろいろな問題があり他人事ではないと思った。僕も将来は八百津町に住んで八百津町のいろいろなことに貢献したいと思う。」と感想を話していました。

それぞれの質問と回答は次のとおりです。

## 町や学校のユニバーサルデザインについて

八百津小6年 岩井雅斗さん



体の不自由な人やお年寄り、小さな子どもなど八百津町に住む人が生活しやすい環境になって欲しいので、積極的にユニバーサルデザインを取り入れて欲しいと思います。例えばバスをノンステップバスにして乗りやすいバスにしようでしょうか。

### ●岩井健康福祉課長

八百津町では、公共施設の段差を解消するためのスロープや手すりの設置、身体の不自由な人が利用するトイレの改修、横断歩道の点字ブロックの設置等の整備を進めています。通学に使用しているバスをノンステップバスにしてほしいという要望については、購入は検討しましたが、道路事情やバス停などを考慮した結果、導入は難しくリフト付きのバスを購入する予定です。

## 広報無線について

八百津小6年 加藤春香さん



広報無線が聞こえない地域があります。私の住んでいる地域も聞こえません。大事なお知らせがあっても聞こえないので不安です。八百津町に住む人たちがすべて安心して暮らせるように、広報無線が聞こえない地域が無ないようにしてほしいです。

### ●海老防災安全対策室長

「こうほうやおつ」の放送は、役場からめい想の森を中継して、各戸の戸別受信機に送られています。こうほうが聞こえない、聞こえにくい理由として、戸別受信機の故障、周囲の電波状況が開設時と変わってきたことが考えられます。戸別受信機は無料で交換します。いずれにしても、設備は15、6年が経過し古くなってきているので、何かあれば、防災安全対策室に問いあわせてください。